



# 蒜高タイノゴズ

第78号  
毎月25日発行  
H22. 8. 27  
蒜山高校 教務課



## パソコン教室開催（七月二十一日～二十二日）

蒜山地区の老人クラブ等の方5名が参加して、パソコン教室を開催しました。一日目はワードを使つた暑中見舞い作成と、エクセルを使った表&グラフ作成を行い、二日目はEメールの使い方を行いました。本校生徒も補助員としてお手伝いしました。参加者の方からも参加して良かったという感想をいただきましてありがとうございました。

## 人権教育講演会（八月四日）

8月4日（水）、蒜山ジャージーランドで人権教育講演会が行われました。講師の森美智子先生は、岡山学芸館高校の参与をされている方です。会場には蒜高教職員のほかに、蒜山地区の学校関係者、保護者の方々など35名が集まりました。講演の中で先生は、実際あつた事例に触れながら、子どもたちの問題行動の奥に潜むものへの虐待や引きこもりやニートの問題が呼ばれるようになつた中で、親として、教師としてどのように子どもたちと接していくべきかを実感できる内容でした。また講演の最後に「子どもたちの心の叫び」として、子どもが抱えている思いを具体的に語つてください、教員の立場、保護者の立場からも大いに参考になるお話が多く、非常に有意義な講演でした。また当日は、蒜高保護者の方々に多数参加いたしました。

## 千寿荘夏祭りボランティア（八月七日）

1年生4人、3年生3人が夏祭りのお手伝いをさせていただきました。午後二時から集合して、ヨーヨーをふくらますなどの準備をし、午後五時半からは金魚すくいやわたがし、ジュース、ヨーヨーなどの出店で販売をしました。途中の○×クイズでも活躍しました。千寿荘の方々、地域の方々で盛り上げている夏祭りに参加し、多くの方と接する機会になり、非常に有意義な時間になつたと思います。



### 9月の予定

- 3日(金)三座祭(文化の部)午後
- 4日(土)三座祭(文化の部)午前
- 5日(日)三座祭(体育の部)終日
- 17日(金)1年生コース説明会
- 24日(金)人権LHR



## ～平成22年度三座祭の日程～

テーマ『Don't think, just feel it.  
(考えるな、感じろ。)』

### 9月3日(金)文化の部

- 10:40～開会式&オープニングイベント
- 11:10～学年対抗素人名人戦
- 12:50～展示・見学
- 15:00～有志バンド演奏



### 9月4日(土)文化の部

- 9:40～学年劇

1年生『親愛なる者と不意に目立つたアイツ』

2年生『都合が良すぎてロクなことがない物語』

3年生『パンやろ』

- 11:10～各団体展示見学

### 9月5日(日)体育の部

- 10:00～開会式

10:30～



1. 準備体操 2. 100m走 3. Jumping Rope 50

4. 障害物競走 5. スウェーデンリレー

6. 借り物リレー 7. ○×クイズ 8. 総引き

13:30～

9. パッションタイム 10. 三人四脚リレー

11. 選抜混合リレー 12. 花火

15:00～閉会式

三座祭に向けて、生徒・保護者・教員とで草刈りが行われました。朝早い時間から保護者の皆様には大変お世話になりました。朝強い日差しの中、生徒たちも汗だくになりながら黙々と草を抜いていました。一時間という短い時間ではありましたが、グランンドは見違えるようにきれいになりました。生徒の直向きな頑張り、保護者の皆様の心強いサポートを目の当たりにして、目前に迫つた三座祭への期待がより一層高まつた様に思います。保護者の皆様には、バザー等でもまたお世話になりますが、よろしくお願ひいたします。



## 草刈り登校日（八月二十一日）

三座祭に向けて、生徒・保護者・教員とで草刈りが行われました。朝早い時間から保護者の皆様には大変お世話になりました。朝強い日差しの中、生徒たちも汗だくになりながら黙々と草を抜いていました。一時間という短い時間ではありますましたが、グランンドは見違えるようにきれいになりました。生徒の直向きな頑張り、保護者の皆様の心強いサポートを目の当たりにして、目前に迫つた三座祭への期待がより一層高まつた様に思います。保護者の皆様には、バザー等でもまたお世話になりますが、よろしくお願ひいたします。

午後一時から、本校体育館に第一学習社の神田利昭先生をお招きして小論文の講演会がありました。「小論文」と聞くと、主に大学入試に必要な科目というイメージが強く、他人事のように捉えている生徒が殆どだったのではないかと思いますが、神田先生のお話を聞くと、その考えが間違っていることに多くの人が気づいたのではないかでしょうか。「みんなの将来には、"書いたもの"によって結果を判定されるケースが多く待ち受けっています。社会に出るにあたって求められているのは、「考える力」と「コミュニケーション能力」。この二つの力を高等学校にいる間に身につけなくてはいけない。だから今、みんなは小論学習をする必要があるのです。」というお話は、非常に納得させられるものでした。近いところで「書く力」が試されるのはどこか。進学の場合、入試の小論文はもちろん、進学先でのレポート作成。就職の場合は履歴書の志望動機欄や仕事の報告書。ポイントは、問われている事柄（テーマ）に対して、一貫した意見を、多面的かつ客観的な根拠で支えながら筋道立て述べ、相手を納得させる文章にすること。そして、常に自己を見つめ、自己分析をし続けること。高校時代の思い出を「楽しかった」「大変だった」だけで終わらせるのではなく、その経験を通して自分がどうございました。

## 小論文講演会（八月五日・登校日）